

製品名: ALPL マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81104**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット、ウサギ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 57.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 遺伝子名 | ALPL |
| 別名 | HOPS; TNAP; APTNAP; TNSALP; AP-TNAP |
| 遺伝子 ID | 249.0 |
| SwissProt ID | P05186 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト ALPL の精製された組み換え断片。 |

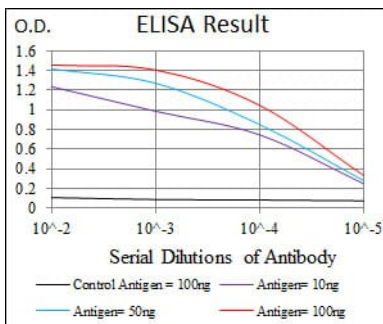
背景

少なくとも4つの異なるが関連のあるアルカリホスファターゼ、すなわち腸管型、胎盤型、胎盤様型、および肝臓/骨/腎臓型（組織非特異的）が存在します。最初の3つは2番染色体に共存し、組織非特異的型は1番染色体上に位置しています。この遺伝子産物

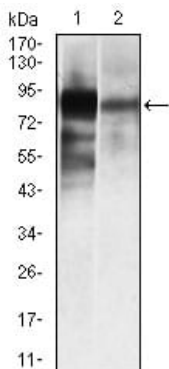
は膜結合型糖化酵素であり、特定の組織では発現しないため、組織非特異的型酵素と呼ばれます。アルカリホスファターゼの正確な生理機能は不明です。この酵素の機能の一つとしてマトリックス石灰化が提唱されていますが、この酵素の機能型を欠損したマウスでは正常な骨格発達が見られます。この酵素は、高カルシウム血症を特徴とし、骨格異常を伴う疾患である低ホスファターゼ症と直接関連しています。しかしながら、この疾患の特徴は、特定の変異によって発症年齢や症状の重症度が決定されるため、変異の種類によって大きく異なります。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションも報告されています。

研究分野

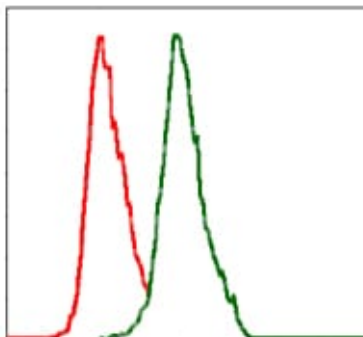
画像データ



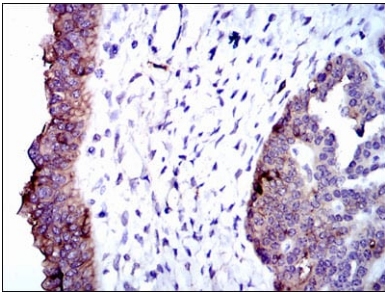
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



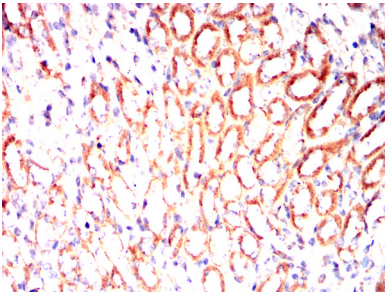
HeLa (1) および NTERA-2 (4) 細胞溶解物に対する ALPL マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



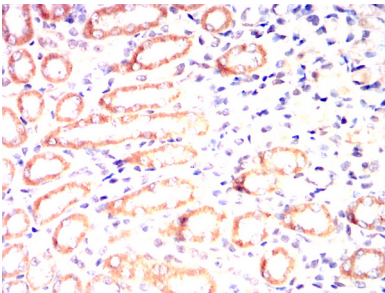
ALPL マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



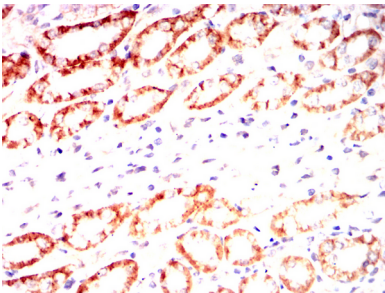
ALPL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



ALPL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析。



ALPL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。



ALPL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓の免疫組織化学分析。